

国立大学法人総合研究大学院大学学長選考・監察会議規則

平成16年7月9日

学長選考会議議長裁定

一部改正 H18. 3. 6/H18. 6. 6/H22. 10. 12/

H26. 12. 24/R2. 3. 19/R4. 3. 30/R4. 7. 7/R5. 12. 18

(趣旨)

第1条 この規則は、国立大学法人総合研究大学院大学基本通則（平成16年基本通則第1号）第7条第3項の規定に基づき、国立大学法人総合研究大学院大学に置く学長選考・監察会議の組織及び運営について必要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

第2条 学長選考・監察会議は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 学長の選考に関する事項
- (2) 学長の任期に関する事項
- (3) 学長の解任に関する事項
- (4) 学長の業務執行状況の確認に関する事項
- (5) 国立大学法人法（平成15年法律第112号。以下「法人法」という。）第10条第1項に規定する理事長及び同条第3項に規定する大学総括理事を置くことに関する事項
- (6) その他学長選考・監察会議が必要と認めた事項

2 前項第1号に規定する学長の選考は、人格が高潔で、学識が優れ、かつ、総合研究大学院大学における教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる能力を有する者のうちから行わなければならない。

3 第1項第3号に規定する学長の解任は、法人法第17条第2項及び第3項の規定に基づき審議するものとする。

(組織)

第3条 学長選考・監察会議は、次の各号に掲げる者で組織する。

- (1) 国立大学法人総合研究大学院大学経営協議会規則（平成16年法人規則第12号）第3条第1項第4号に掲げる者の中から経営協議会において選出された者 8人
- (2) 国立大学法人総合研究大学院大学教育研究評議会規則（平成16年法人規則第13号）第3条第1項第2号から第5号までに掲げる者の中から教育研究評議会において選出された者 8人

2 前項第1号に掲げる委員及び第2号に掲げる委員は、各同数をもって組織しなければならない。

3 国立大学法人総合研究大学院大学学長選考要綱（以下「選考要綱」という。）第6条第1項及び第2項に規定する学長候補適任者に推薦された委員は、選考要綱第11条第1項の規定による学長候補者の交渉が終了するまでの間、その議事に加わることができない。

(任期)

第4条 前条第1項各号に規定する委員の任期は、経営協議会の委員の任期又は教育研究評議会の評議員の任期とする。ただし、経営協議会の委員又は教育研究評議会の評議員の地位を退いたときは、委員の職を失うものとする。

2 前項に規定する委員は、再任されることができる。

(運営等)

第5条 学長選考・監察会議に議長を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 議長は、学長選考・監察会議を招集し、これを主宰する。

3 議長に事故があるときは、あらかじめ議長が指名した委員が議長の職務を代理する。

4 役員を、学長選考・監察会議に出席させることができる。ただし、第10条に規定する議事には加わらないものとする。

第6条 議長は、学長選考・監察会議を招集するときは、各委員に対して、会議開催の場所及び日時並びに会議に付議すべき事項を書面により通知しなければならない。

2 議長は、委員総数の3分の1以上の委員から会議に付議すべき事項を示して学長選考・監察会議の招集を請求されたときは、その請求のあった日から20日以内に、これを招集しなければならない。

3 議長が前項の規定による招集をしない場合には、招集を請求した委員全員が連名で学長選考・監察会議を招集することができる。この場合における学長選考・監察会議の議長は、前条第1項の規定にかかわらず、出席委員の互選によって定める。

4 第1項の通知は、会議の7日前までに発ししなければならない。ただし、緊急を要する場合はこの限りではない。

(監事の陪席)

第7条 学長選考・監察会議の議事は、原則として監事を陪席させて行う。

2 議長は、監事に対し議事進行についての意見を述べる機会を与えるものとする。ただし、監事は議事の内容にわたる意見を述べることはできない。

第8条 学長選考・監察会議が必要と認めた場合には、委員以外の者を会議に出席させて、その意見を聴くことができる。

(定足数)

第9条 学長選考・監察会議は、委員(第3条第3項の委員を除く。次項において同じ。)の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決することができない。

2 前項の規定にかかわらず、第2条第1項第1号及び第3号に規定する審議事項のために会議を開催する場合は、委員の3分の2以上の出席とする。

(議事)

第10条 学長選考・監察会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

2 前項の規定にかかわらず、第2条第1項第3号の学長の解任に関する議事は、学長選考・監察会議の委員の3分の2以上をもって決する。

(議事録)

第11条 議長は、学長選考・監察会議の開催の場所及び日時並びに議決事項その他の事項について、議事録を作成しなければならない。

(学長の職務の執行状況の報告)

第12条 学長選考・監察会議は、国立大学法人総合研究大学院大学監事監査規則第17条の規定による報告を受けたとき、次項の規定による通報を受けたとき又は学長が解任事由に該当するおそれがあると認めるときは、学長に対し、職務の執行の状況について報告を求めることができる。

2 学長選考・監察会議は、学長の職務の執行に関する通報を本学構成員等から幅広く受け付けるため、通報窓口を設置する。

3 前項の通報窓口を担当者を置き、総務課の職員をもって充てる。

(庶務)

第13条 学長選考・監察会議の庶務は、総務課において処理する。

(改正)

第14条 この規則を改正する場合は、経営協議会及び教育研究評議会の意見を聴かなければならない。

(雑則)

第15条 この規則に定めるもののほか、学長選考・監察会議の議事の手続その他の運営に関して必要な事項は、学長選考・監察会議が別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成16年7月9日から施行する。
- 2 この規則施行後の最初の学長選考会議は、第5条第2項の規定にかかわらず、学長が招集するものとする。

附 則（平成18年3月6日学長選考会議議長裁定）

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成18年6月6日法人規程第3号）

この規則は、平成18年6月6日から施行し、平成18年4月1日から適用する。

附 則（平成22年10月22日学長選考会議議長裁定）

この規則は、平成22年10月22日から施行する。

附 則（平成26年12月24日学長選考会議議長裁定）

この規則は、平成26年12月24日から施行する。

附 則（令和2年3月19日学長選考会議議長裁定）

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則（令和4年3月30日学長選考会議議長裁定）

この規則は、令和4年4月1日から施行する。

附 則（令和4年7月7日学長選考・監察会議議長裁定）

この規則は、令和4年7月7日から施行する。

附 則（令和5年12月18日学長選考・監察会議議長裁定）

この規則は、令和5年12月18日から施行する。